

東京体育学会
第82回研究会のご案内

会期：平成23年10月29日(土) 16:00～17:30 (含、質疑応答)

会場：東京大学駒場キャンパス、21KOMCEE / B1「レクチャールーム」

会費：無料(会員以外も無料)

<演者>：久野 譜也(筑波大学 教授)

<座長>：深代 千之(東京大学 教授)

テーマ：超高齢人口減社会における体育の役割 -Smart Wellness City の創造-

急速な高齢化・人口減社会を迎える我が国において、今後、地域社会・経済活力の低下、及び社会保障コストの増加を回避し、医療費・介護費の低減を図るために、我々は、地域における健康づくりをこれまでのような医学的視点を中心に個人へのアプローチという捉え方のみをするのではなく、経済などを含めた地域活性化及び地域の環境という視点も入れた上で健康づくりを総合的に捉える、すなわち健康とまちづくりを一体的に進めていくことの重要性を提示した。

このような課題に対し、自治体の首長と大学の研究者等が中心となって「Smart Wellness City 首長研究会(SWC)」が平成21年11月に筑波大学にて発足した。SWC研究会は、「我が国の超高齢・人口減社会によって生じる様々な社会課題を、自治体自ら克服するため、この危機感を共有する首長が終結し、健康=健康をこれからのまちづくりの基本に捉えた政策を連携しながら実施することにより、3年後の目処に最新の科学技術や科学的根拠に基づく持続可能な新しい都市モデル[Smart Wellness City]の構築を目指す」という宣言のもとに活動がなされている。この研究会では、地域を中核とした総合的健康づくり施策により、健康寿命の引き上げが可能であるとの仮説を立て、これを実現するための課題が整理されている。その課題とは、①地域において将来の医療・介護予防費削減にも一定の効果が予想される運動を中核とした健康づくりを促進させるインセンティブの不足、②これまでの地域の健康づくりは、健康意識が高いうえに健康状態も良好な住民を対象として実施。しかもその事業規模は、財政へのインパクトは全くないレベルのものがほとんどである。③大学は個々の学問としてのエビデンスを持つが、地域において実際に実践できる総合的健康づくり施策を構築するためのエビデンスが不足、④地方自治体において、総合的健康づくり政策を企画、実行できる人材の不足、である。この解決策として、①地域で総合的健康づくりによる実証実験のプロセス及びアウトカム評価、②地域で総合的健康づくりが普及するための政策パッケージの開発、及び総合的な健康づくりを推進できる人材の育成システムを構築することが挙げられている。

- 【もくじ】
- ・第82回研究会のご案内 (1)
 - ・第3回学会大会のご案内 (2)
 - ・YMFSの助成/奨学金のご案内 (4)
 - ・笹川スポーツ研究助成のご案内 (4)
 - ・新入会員 (5)
 - ・東京大学駒場キャンパス、21KOMCEE/B1「レクチャールーム」へのアクセス (7)
 - ・国士舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎34号館へのアクセス (8)

東京体育学会第3回学会大会のご案内

会期：平成24年3月10日(土)
会場：国士舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎34号館
会費：無料(会員以外も無料)
内容(予定)：教育講演、大学院紹介、一般研究発表など

一般研究発表申込要領

発表形式：12月下旬にホームページに記載します。
演題申し込み〆切：平成24年~~2月17日(金)~~

平成24年1月27日(金)15:00までに変更させていただきました。

演題申込先： 電子メール：tokyotai@kokushikan.ac.jp
東京体育学会 庶務 矢田秀昭
〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1
国士舘大学体育学部 東京都医科学サポート事務室内
東京体育学会 事務局
FAX:042-339-7208

発表資格

- (1) 登壇発表者は東京体育学会の会員に限る。
- (2) 共同研究者に(社)日本体育学会の他支部会員を含む場合は支部名を明記する(備考1)。
- (3) 共同研究者に(社)日本体育学会未加入者を含む場合は、理由書を添付する(備考1と2)。

発表申込様式

発表の申込は、原則として、電子メール(tokyotai@kokushikan.ac.jp)で受け付けます。メールタイトルは、「東京体育学会第3回学会大会演題申込」とし、下記6項目を、添付ファイル(テキスト形式またはマイクロソフトワード形式)にてご送付願います。(7)は大会当日に提出願います。)

- (1) 発表演題名
- (2) 発表者および共同研究者の氏名と所属(登壇発表者には○印を付ける)
- (3) 発表者が大学院生か否か
- (4) 東京体育学賞、若手研究奨励賞の審査希望の有無
(東京体育学賞ならびに若手研究奨励賞(大学院生対象)の審査は、審査を希望される方を対象として行います。また、審査希望の方には、原則として、翌年度の東京体育学研究への投稿をお願いいたします。)
- (5) 440字以内の発表要旨
- (6) 連絡先住所、電話番号および電子メールアドレス
- (7) 発表者は、東京体育学研究に掲載するための抄録(備考4)を大会当日に提出する。

備考

- (1) 発表資格の2項及び3項に該当する共同研究者は、大会当日1名につき1,000円を納付する。
- (2) 未加入者については、審査の上、可否を決定する。
- (3) 発表演題の採否決定は、発表要旨に基づいて研究委員会で行う。
- (4) 東京体育学研究に掲載する抄録の体裁は、①タイトル、②氏名、③所属、④キーワード、⑤本文(字数1200字以内の2段組みとし、A4サイズ1枚に収める。また、図表の挿入も可)とする。
- (5) 大会プログラムの編集上、発表要旨原稿に若干の字句修正をすることがある。

○東京体育学会の事務局に以下の助成及び奨学金の案内が届きましたので、紹介させていただきます。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)
「YMFS スポーツチャレンジ助成」「YMFS 国際スポーツ奨学金」
平成 24 年度(第 6 期生)募集開始のご案内

当財団では、スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材育成を目標とした「YMFS スポーツチャレンジ助成」および「YMFS 国際スポーツ奨学金」の平成 24 年度(第 6 期生)の募集を 9 月 1 日～11 月 15 日まで受け付けます。

詳しくは、ホームページ(下記 URL)をご覧ください。

<http://www.ymfs.jp>

笹川スポーツ研究助成
平成 24 年度募集のご案内

当財団では、スポーツ振興を図る研究活動を支援します。

対象となる研究 人文・社会科学領域の研究に対し、以下の 3 テーマを対象とします。

- ①スポーツ政策に関する研究
- ②スポーツとまちづくりに関する研究
- ③子ども・青少年スポーツの振興に関する研究

申請受付期間 : 平成 23 年 11 月 1 日～11 月 30 日(必着)

詳しくは、ホームページ(下記 URL)をご覧ください。

<http://www.ssf.or.jp>

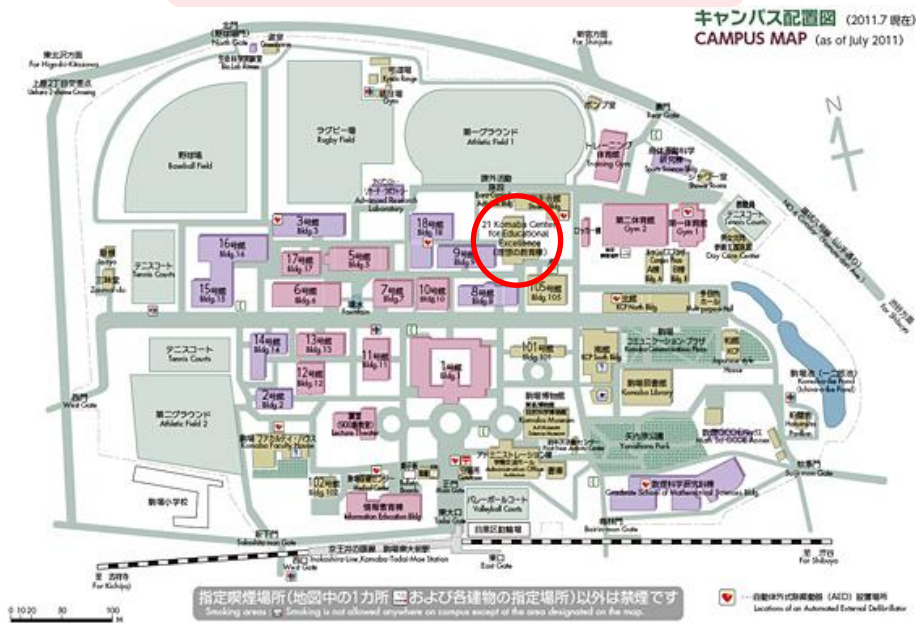
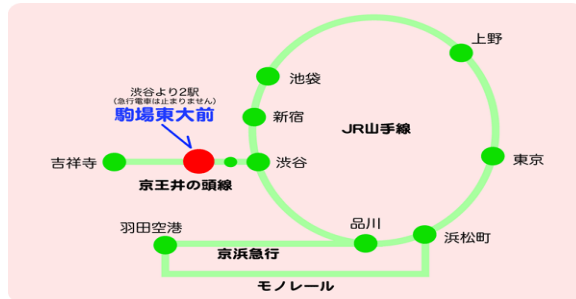
新入会員

(平成 23 年 6 月 17 日～平成 23 年 9 月 22 日)

計 35 名

東京大学駒場キャンパス

21KOMCEE/B1「レクチャールーム」へのアクセス



国士館大学世田谷キャンパス

梅ヶ丘校舎 34 号館へのアクセス

小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩 9 分

東急世田谷線松陰神社前駅/世田谷駅下車徒歩 6 分

渋谷駅南口バス乗場 18 番「世田谷区民会館行」バスで終点下車、徒歩 1 分



会 報「とうきょう」2011年 第2号

発行日：2011年10月12日 編集：広報委員会

発行人：東京体育学会 会長 角田直也

〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1 国士舘大学体育学部 東京都医科学サポート事務室内
東京体育学会 事務局

e-mail:tokyotai@kokushikan.ac.jp TEL:042-339-7273 FAX:042-339-7208